

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：平成31年3月13日

事業所名 平谷こども発達クリニック円山事業所 はぐくみ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		時間帯により3階建ての全館を使う日を設けている。	
	2	職員の配置数は適切である	○		必要な場合には個別対応ができるようにしている。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		新しい施設なのでバリアフリーに対応している。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		毎月職員会議で検討している。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		今回のアンケートがそれにあたる。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページに公開しました。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		元大学教官にスーパーバイザーとして加わってもらっている。
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		できるだけ研修に参加するよう考慮している。	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		面談を実施し、ニーズを把握するよう努めている。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している		○		知的能力を測る検査等はクリニックで実施し、その結果を参考にしている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		職員間で話し合いながら立案している。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		毎回異なるメニューを用意している。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		長時間利用の時は、2コマの活動日程を組んでい	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる放課後等デイサービス計画を作成している	○		個別活動の後は集団での活動を実施している。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している		○		あらかじめ主で行う担当は決められており、サブで入る者に支援内容・方法を伝えている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		気がついたことをノートに記載し、情報共有するように心がけている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		各担当が記録を取り、気がかりなことがあれば会議で情報共有している。	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		6か月毎に、見直す機会を設けている。		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っている	○		様々な活動を組み合わせている。		

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		サビ管と担当者が出席するようにしている。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		必要に応じ、担任と送迎等で情報交換を行うようにしている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○		主治医からの意見書をもっている。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		必要に応じて、事前見学や情報交換の機会を設けている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		特別支援学校での卒業前の移行支援会議に出席	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		必要に応じて実施している。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		保育所等訪問で、児童クラブとも連携している
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		自立支援協議会の委員である	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		連絡帳を活用している。	
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○		スーパーバイザーの大学教官にお願いする。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		できるだけ丁寧に説明している。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		随時実施している。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		保護者同士が話し合える場を今後検討する。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		苦情対応の窓口を設け、目につきやすいところに掲示している。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		活動写真を載せたはぐみ通信を掲示している。	
	35	個人情報に十分注意している	○		取り扱いには十分配慮している。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		分かりやすい伝達手段を考慮している。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		バラ園を地域に開放している。	

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		マニュアルを策定している。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		利用者と一緒に訓練を実施している。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		随時実施している。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		○		該当者無し
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		長期利用に該当者	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している		○		今後検討する